

五泉市展「市展賞」を受賞して

善道教室 小林溪雲

この度、五泉市展で初めて「市展賞」をいただきました。その知らせは10月半ば、五泉市生涯学習課から届きました。封を開けてみると、そこには「作品名 易恒詩（書道）、受賞名 市展賞」と書いてありました。「市展賞？」と思わず3度、読み直してみました。それで私の書の作品が初めて「市展賞」をもらったことが分かりました。近くに妻がいたので、その紙を渡しました。妻も読んでびっくり。そして、「おめでとう」と言ってくれました。

「これはすぐ松雲先生に報告しなければ！」と思い、松雲先生に「お世話になっております。本日先ほど、五泉市生涯学習課より五泉市展の結果が届きました。その結果は『市展賞』でした。初めての結果に興奮しました。これも先生のご指導のお陰です。ありがとうございました」とメールをしました。すぐに先生からも「おめでとうございます。良かったね～。まだまだこれからですから、ますます精進してください」という返事をいただきました。

今回の作品は2尺8尺、40字の書です。松雲先生から指導をいただき、単体の書で作品作りをすることにしました。しかし、単体の書は私が苦手とするものでした。それは昨年度、単体で50字の書を練習し始めたときに、思い通りに書けないことがあったからです。松雲先生からも「これは完成するのに時間がかかるよ」と言われたほどでした。

そんなことから、このたびの書は「太細の線を出していくぞ」と最初から書の書き方を決めて取り掛かりました。さらに松雲先生からは「今年は五泉市展の作品締切が早いから、これからねじを巻いて頑張ってください」と発破をかけられました。それまで「これからゆっくりと書こうかな」とのんびり構えていた私も「ねじを巻かなければ！」と必死になりました。9月の秋の練成会では最後の最後まで書きました。そして、松雲先生から1枚選んでいただき提出しました。その書がこの度「市展賞」に選ばれたのです。

最後に、初めてこのような大きな賞をいただき、たいへん光栄に思っています。松雲先生のご指導の通り、まだまだこれからです。ますます精進していきます。